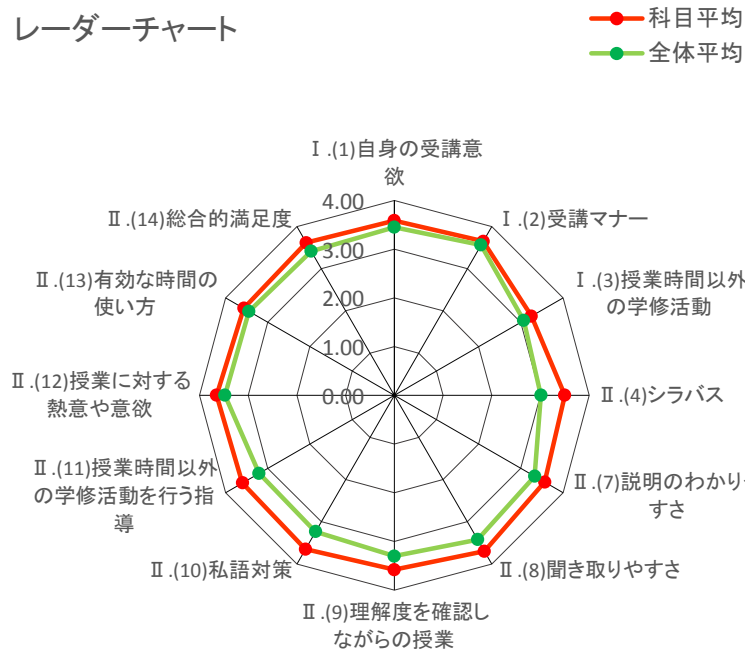
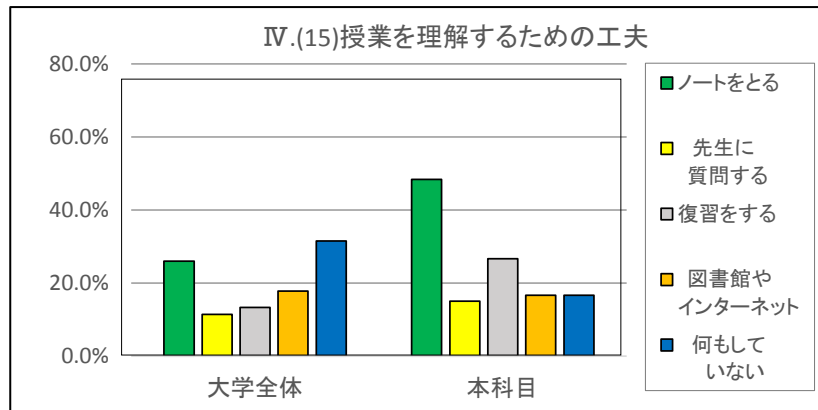


レーダーチャート



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15)授業を理解するための工夫	48.3%	15.0%	26.7%	16.7%	16.7%



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.58	3.45
	I.(2)	3.65	3.56
	I.(3)	3.25	3.07
講義内容・方法	II.(4)	3.50	3.01
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.57	3.33
	II.(8)	3.70	3.42
	II.(9)	3.58	3.30
	II.(10)	3.65	3.23
	II.(11)	3.60	3.21
	II.(12)	3.65	3.48
	II.(13)	3.57	3.45
満足度	II.(14)	3.62	3.41

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.49	3.36
講義内容・方法 II.(4)~(13)	3.60	3.30
総合的満足度 III.(14)	3.62	3.41

授業年度	2017年度後期
時間割番号	21205
科目名	母性看護学概論
教員名	服部 律子

①授業計画の達成度について

初回授業時にシラバスに基づいて授業の位置づけ、目的、到達目標と授業計画について説明を行っている。シラバスについても役立っているようである。ただ、初回受講時にシラバスを見ていない学生もあり、授業時間外学習を計画的に進められるようにするためにも、次年度からは公開されている本学所定のシラバス様式にさらに詳細な情報を加えた配布用シラバスを準備し、さらなる改善を図っていきたい。授業の難易度については、「やや難しい」という評価のようである。専門的な知識を学ぶ高等教育が「ちょうど良い」ほうが良いのか、「少し難しい課題にチャレンジすること」で自己効力感を高める設定が良いのかについては議論の分かれるところである。次年度に向けては、学生の理解度を確認し、「難しすぎる」にならないよう留意して展開していきたい。

②授業の進め方について

授業の進め方については、概ね良いようである。学生の成績の状況からみると明らかに二極化しており、どちらに合わせた授業を進めるかが難しいところではあるが、次年度に向けても学生の理解度等を確認しながら進めていきたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

学生の積極的な学習姿勢も認められ、授業内容や方法も学生のニーズを満たしていると考えられた。次年度も引き続き、学生の学習意欲を高められるような授業の実施に努めていきたい。